

リアル視察訪問イベント報告

日仏交流支援委員会主催の「リアル視察訪問イベント」が 2018 年 10 月 16 日（火）に実施されました。総勢 35 名の皆様にご参加いただき、①Eura Technologies（IT 関連スタートアップ企業の支援機関）、②オー・ド・フランス地域圏議会、そして③AMAZON 物流センターを訪問しました。

リアル市を代表都市に抱くオー・ド・フランス（Hauts-de-France）地域が、その地政学的な強みを活かして行政主導で積極的に外資誘致を進め、更に商工会議所ではスタートアップ企業等へ様々な支援を行っている現状に触れることが出来ました。本視察を機に同地域企業との交流を開始された企業もあるようです。

AMAZON 物流センターでは、最新鋭の設備を備えた巨大な倉庫で商品の搬入から発送に至る一連の作業が正確かつスピーディに行われている状況を目の当たりにし、大変有意義な機会となりました。以下にイベントの概要を時系列にてご紹介いたします。

Eura Technologies 訪問 (10:00-12:15)

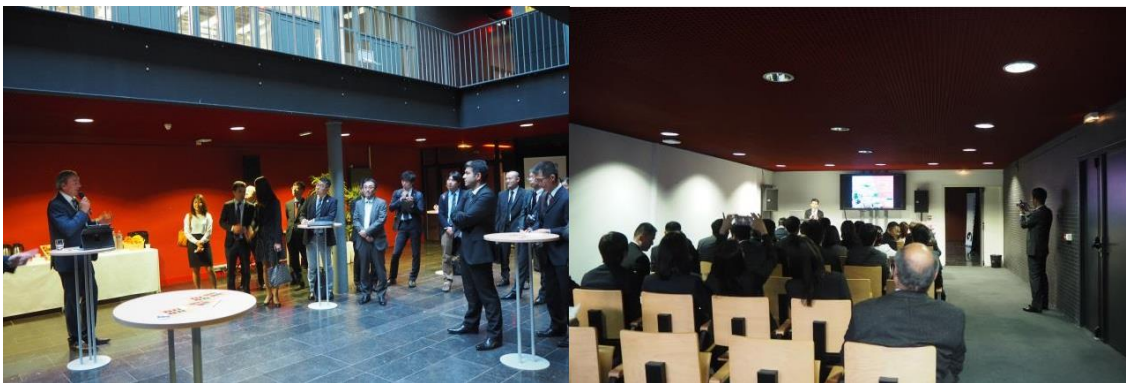
古くは繊維産業で栄えたオー・ド・フランス地域では、デジタル産業を軸とした Tech Innovation City として成長すべく、インキュベーター&アクセレレーターのエウラテクノロジーズが 2009 年に設立されました。これまでの支援企業は 300 社超、その内約 200 社はスタートアップ企業とのことです。

歓迎レセプションでは、地方投資促進開発局の Doublet 代表よりトヨタ自動車を始めとする日系企業 74 社/78 事業所が同地域へ進出している現状の説明、更にオー・ド・フランス商工会議所の Leofort 会頭より、同地域と日本政府・企業が長期的なパートナーシップの下、交流を深めてきた歴史のご披露等がありました。

リアル市を中心とする半径 300km 圏内に消費者数 7,800 万人、パリ、ロンドン、ブリュッセル、アムステルダム、ケルンといった大都市がスッポリと収まり、それら各都市へ高速鉄道で 30 分強から 2 時間半で結ばれるという地理的優位性を有するオー・ド・フランスは、地域別 GDP 4 位、海外投資受入れ数 2 位、日系企業進出数 4 位（順位は何れもフランス 13 地方内でのもの）等に位置し、鉄道・自動車・物流・E コマースといった分野で成長を遂げています。

また同地域商工会議所による海外進出企業支援により、地方自治体（パ・ド・カレー地方）と日本のファッションブランド（pas de calais）とのコラボレーションも近年実現しています。

当日は、日本進出機会も窺うデジタルアプリケーション系スタートアップ企業 5 社からのプレゼンもありました。



Eura Technologies 代表者のスピーチ

プレゼンテーションの一幕

地域圏議会でのネットワーキングランチ (12:30-14:00)

オー・ド・フランス地域圏議長で元厚生相、元労働相のBertrand氏をはじめ、多くの幹部の方々にご出席いただき、視察参加者は懇親を深めることが出来ました。Bertrand氏からのスピーチでは、2年前より地方がフランスの経済政策の主な担い手と位置付けられたことを受け、同地域ではスタートアップ企業の支援を含め積極的に経済発展施策に取り組んでいること、同地域の主な強みは①地理的要因、②消費力・大きな人口、③イルドフランスに隣接、の3点であること、Brexit 対応ではそれら強みを活かし、主に工業や IT 分野企業の進出誘致により英国と win-win を目指していきたい、との力強いご発言がありました。会の締め括りとして小林会頭より参加者を代表しての謝辞および御礼の品の贈呈の後、参加者全員による記念撮影を行いました。



BERTRAND 地域圏議長のスピーチ

地域圏議会での記念撮影

AMAZON 物流センターの見学 (14:30-16:00)

Phinera-Horth氏に案内いただき、Amazon の物流センターを見学しました。

同センターは 9 万平方メートルを有し、24 時間に 100 万個の物品を受け入れる能力があるそうです。搬入物品は、センター内に突き入れたトレーラー背面から荷卸ろしされ、検査員による受け入れ検査後コンベアでセンター内を搬送され、作業員の手で一時保管庫場所などに格納されます。それぞれの場所はバーコード管理されており、作業員が携帯端末を用いて格納場所・物品などを都度スキャンすることでデータ化されます。搬出においても、作業員が端末指示に従いバーコードで物品照合を行ってピックアップし、コンベア搬送、人手による仕分け・梱包後、機械がバーコードを元にラベルを貼り発送されます。全体にセンター内物流はよく整流されており、完成度の高いシステムと見受けられました。見学の各工程では、参加者から多くの質問が寄せられていました。

同センターでは数年前の設立当初に 700 名、現在では 5000 名弱が雇用されているようで、リールが労働力を得やすい地域でもあることを示す一例といえそうです。



AMAZON 倉庫の外観



倉庫施設への入り口

今後オー・ド・フランス地方に関するご相談等ありましたら、神向寺ギヨーム氏までお願いいたします。

この度の訪問受け入れに際し、オー・ド・フランス地方投資促進開発局の神向寺ギヨーム氏をはじめ、関係者の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

在仏日本商工会議所 日仏交流支援委員会

Guillaume JINKOJI

Responsable Asie

F: +33 (0)3 59 56 23 37 M: +33 (0)6 85 08 04 55

Wechat: Guillaume-Jinkoji Line: guillaume-naoki



**THE INVESTMENT PROMOTION
AGENCY FOR HAUTS-DE-FRANCE**

299 boulevard de Leeds
59777 LILLE (France)

www.nordfranceinvest.com